何かしなければいけないと言う偏見：Do something biasの危険性

Do something biasとは「何かをしなければ！」と言う強迫観念によって言動を起こすと言う意味です。

例えば、何かのミーティングにて、特に何も意見は無いのに「何かを言わなければ！」と言う強迫観念に襲われて、適当な意見を吐いて、みんなの時間を無駄にすると言う事がよくあるでしょう。

例えば、あなたの会社の競合会社が何か、画期的な商品サービスを開発してたとして、「ヤバいぞ。どうする？」と言う議論になるかもしれません。別に、何もしなくて良いのです。何かをした時のコストが、何かをした時の利点を上回ってしまう事もあるわけですから。

例えば、スポーツや勉強。長時間、練習、勉強をしても尚「何かしなければ！」と言う強迫観念に襲われて、生産性の無い練習と勉強になり、十分に休息が取れずに翌日の生産性に影響を及ぼしてしまう事だってあるわけです。

実は、行動しない事、発言しない事も、何もしない事も一つの戦略なのです。

動画のシェアお願いします～